

日本学術会議 哲学委員会古典精神と未来社会分科会（第 24 期第 5 回） 議事要旨

日時：令和元年 6 月 23 日（日）13 時 00 分～17 時 00 分

場所：東京大学文学部 215 番教室

委員

（出席 12 名）葛西、梶原、加藤、熊野、小島（委員長）、佐藤、土田、土屋、手島、中島、芳賀、吉水（幹事）

（欠席 8 名）芦名、伊藤、岡田、鈴木、巽、鳥越、納富（副委員長）、渡邊  
参考人

宮坂健介、林山まゆり、本田拓也、阿部光磨、佐々木仁美、鈴木弘一郎  
オブザーバー

渡部泰明、藤原聖子、高木和子、松本英実、山本慎一、南英明、小田佳祐

議題

1. 哲学委員会からの報告

小島委員長から、4 月 24 日に開催された哲学委員会の内容報告があった。11 月 30 日に哲学委員会主催の公開シンポジウムを開くが、今年は午前中に合同分科会を開かないため、本分科会をその時間帯に開催することが提案された。

2. 国家公務員採用総合職試験（教養区分）の試験に古典を題材とした思考力を問う出

題をするための提言を目指す件について

葛西委員から、あらためて国家公務員総合職試験「教養区分」についての説明があ

り、今後具体的な出題案について分科会として検討したい旨の提案がなされた。委員各自が出題案を考えることになった。

### 3. 古典を伝える～大学教員と高校教員による意見交換会

第22期の本分科会委員が執筆・刊行した『知の古典は誘惑する』（岩波ジュニア新書）について、高校現場で教育を担当している参考人たちから意見を聴取し、あわせて続編企画について議論した。

以上

小島毅